

6/15-6/16

空軍オスプレイ降下訓練

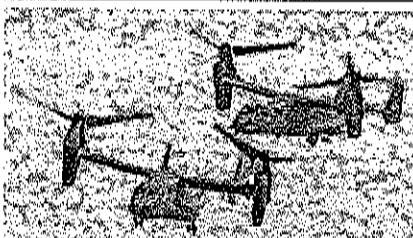
横田基地
米海兵隊　自治体に通告なし

平和委が確認

米海兵隊が5・7の2日間、在日米軍横田基地（東京都多摩地域5市1町）で、事前に周辺自治体への通告はなしだ空軍の特殊作戦機C-22オスプレイから輸送機なしを用いて降下訓練を行ってきましたが、空軍オスプレイを使うのは異例。海兵隊は富士山周辺での実戦を想定した訓練も予定していました。

羽村市の羽村平和委員会による5月22日午後2時39分ごろ10人、3時24分ごろ11人、4時13分ごろ11人が降下しました。今回の降下訓練について福生市企画調整課

海兵隊員を乗せて離陸した2機のC-22オスプレイ（東京・横田基地（羽村和議会提供）



は「防衛省北関東防衛局からの事前の情報提供はない」。5月14日に市1町の連絡協議会の幹事市の羽村市から防衛省に事前確認の問い合わせをしてくる。7月14日には羽村市議会にて、「この訓練は実戦演習「シンカ23」を予定し、周辺自治体に11・17日に米軍によるオスプレイ機からのパラシュート降下訓練も通告されています。

横田基地の撤去を求める西多摩の各の高橋美枝子代表は「米国へ帰った2機と交代で5月30日に新たに機配備されたオスプレイが、10日もたたず、これまでやった以上のなじみで訓練を始めました。横田基地での訓練が今までと次元が違う危険なものになっています。アメリカいいなりで、住民が危険な訓練を押し付ける日本政府にも怒りを覚えます」と話しています。

月30日に新たに機配備されたオスプレイが、10日もたたず、これまでやった以上のなじみで訓練を始めました。横田基地での訓練が今までと次元が違う危険なものになっています。アメリカいいなりで、住民が危険な訓練を押し付ける日本政府にも怒りを覚えます」と話しています。

横田基地の撤去を求める西多摩の各の高橋美枝子代表は「米国へ帰った2機と交代で5月30日に新たに機配備されたオスプレイが、10日もたたず、これまでやった以上のなじみで訓練を始めました。横田基地での訓練が今までと次元が違う危険なものになっています。アメリカいいなりで、住民が危険な訓練を押し付ける日本政府にも怒りを覚えます」と話しています。

C-22オスプレイから降下した海兵隊員=7日、東京・横田基地（羽村平和委員会提供）